あけましておめでとうございます

小林哲夫

昨年も大半がコロナ禍にあったが、自分も家族も社員・スタッフも友人・知人も災禍に見舞われることはなかった。会社も一部テレワークを実施したが、思ったよりデメリットは少なかった。

しかし、私の東京出張は皆無になり、夜の外食も大幅に減り、テイクアウトやコンビニ弁当暮らしが続いた。毎年の社員旅行も中止し、忘年会も部署別の懇親会に切り換えた。

そんな一年であったが、会社はまあまあ順調にやってこれた。新しい試みとしては、「液晶タブレット」を導入して、編集作業のデジタル化を図ったくらい。

私が関係しているAJEC（日本編集制作協会）では、リモートでの打ち合わせや集まりが定着して、理事会をはじめ、編集講座、経営セミナー、各種部会等はオンラインによるWEBミーティングに切り替えた。しかし昨年11月末、一般書部会を久しぶりに神楽坂でリアルな集まりとして開催。2年以上なかった同じ仕事仲間との直接の飲み会はとても新鮮で盛り上がった。

コロナ禍で、いろいろ生活様式や世の中のあり方が変わったが、以前の大事なものやリアルな楽しみは残って欲しい。

今年はエディットを作って32年目。名古屋駅の近くの2DKのマンションの1室でメンバー6人からスタートした。いまは東京・大阪もオフィスができ、総勢80人を超える編集プロダクションになった。確かに「膨張」はしたが、きちんと「成長」したとはまだまだ言えない。多くの課題がある。時代も動いている。

教材編集もワーク・テスト・ドリルといった紙の教材作りに加えて、AIを導入したデジタル教材、IT教材も増えた。新しいノウハウが必要になる。教科の内容や構成といった基本が変容することはないが、コンテンツの加工方法はそれなりの時代にあった適応力・手法が必要だ。常に挑戦して、学び続けることが我々の仕事だとつくづく思う。

昨年は、旅行の機会が少なかった。それでも、緊急事態宣言の合い間を縫って、冬の越前・一乗谷、琵琶湖一周、鳴門・淡路島・大塚国際美術館、久美浜・京丹後、ひるがの高原、安曇野美術館巡り、富士五湖、関ヶ原古戦場・近江八幡・水郷・忍者村・信楽、英虞湾地中海村・スペイン村、ベイコート横浜、紅葉の高尾山と、国内旅行・散策を楽しんだ。

もう一つ見つけた楽しみは「朝散歩」。天気の良い日に、スマホを片手に春日井の自宅や名古屋のマンション近くの公園を、日光を浴びながら1時間ほど歩くことだ。自宅の近くにはふれあい緑道公園と2つの広い池に水鳥がたむろする落合公園がある。「日本の都市公園100選」の1つにも指定されている。

また、名古屋のマンション近くには昨年イオン・モールが開店。整備された「ノリタケの森」がある。小川や噴水、神社、広い芝生、ビオトープの池、ギャラリーなど、プチ散歩を楽しめる。

いまは海外に行く楽しみは難しいが、身近な散策もけっこう気分転換になる。今年もささやかで良い、何か新しい楽しみを1つでも見つけたい。

（写真は昨年の旅行で「水」をテーマに撮った4点です）

久美浜

安曇野

不忍池

水郷（近江八幡）

企画・執筆・編集・制作
株式会社 エディット
代表取締役 小林哲夫
https://www.edit-jp.com/

名古屋本社 〒451-0046 名古屋市西区牛島町5-2 名駅TKビル6F
TEL:052-586-0631（代） FAX:052-586-0632

東京オフィス 〒162-0822 東京都新宿区下宮比町2-28 飯田橋ハイタウン727号
TEL:03-5225-0981（代） FAX:03-3266-5072

大阪オフィス 〒541-0041 大阪市中央区北浜3-5-19 淀屋橋ホワイトビル612号
TEL:06-6208-0501（代） FAX:06-6208-0502

（過去の賀状は：https://www.edit-jp.com/room/nenga.htmlにあります）